

スパイクタンパク抗体(中和抗体)検査

ファイザー社/ビオンテック社製の mRNA ワクチン「コミナティ筋注」(開発コード: BNT162b2) は大規模臨床試験の結果、95%の高い発症予防効果が報告されていますが、自分自身がきちんと抗体を獲得できているか気になる方もいらっしゃるのではないでしょうか。

mRNA ワクチンは、ウイルスの表面に存在し感染の成立に重要な役割を果たす**スパイクタンパク質(S)**に対する抗体を誘導することで、COVID-19の発症予防効果を発揮します。その一方で、今まで行われてきた「抗体検査」は主にウイルスの遺伝情報を収納している**ヌクレオカプシド(N)**というタンパクに対する抗体であり、既感染の判定には有用であるものの、ワクチン接種後の抗体獲得の判定には不適でした。

スパイクタンパク質(S)に対する抗体は、新型コロナウイルスへの既感染およびワクチン接種後の抗体獲得を示す良い指標であり、ウイルスとヒト細胞との結合を阻害する**中和抗体**としての活性を有すると考えられています。新たに**スパイクタンパク質(S)**に対する定量的な IgG 抗体検査 **SARS-CoV-2 スパイク蛋白/Total 抗体**の実施を始めましたのでご案内いたします。

スパイクタンパク抗体(中和抗体)検査の詳細について

検査日時	診療時間内
予約	不要
検査方法	採血(1-2ml程度)
所要時間	5~15分程度
検査費用	7,000円(税込)
所用日数	検査後2日
結果報告	来院での説明

注意点

抗体検査は「過去の感染」「免疫獲得」を確認するための検査です。「現在」の感染の有無を調べるには、PCR検査が適しています。

スパイクタンパク抗体(中和抗体)検査をおすすめする方

- 過去に新型コロナに感染したかどうか不明で、ワクチンを接種すべきかどうか迷っている方。
- ※過去に新型コロナにかかっても、WHO等ではワクチン接種が推奨されています。
- ワクチン接種後に副反応がなく、本当にワクチンが効いているのか心配な方。
- 1回目のワクチンで副反応が強く、2回目打てるか心配。もう抗体がついているのか確認したい方。
※ワクチンは2回の接種が推奨されています。
- ワクチン接種前や接種後に自分の抗体価を確認したい方。

スパイクタンパク抗体(中和抗体)検査はいつ受ければいいのか？

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)では、IgG抗体は発症後約10日で上昇し、発症後14日目以降の陽性率は100%と報告されています。従って、

- 過去感染が気になる人 → 症状が出てから14日後以降の検査
- ワクチン接種後 → **2回目の接種を終えて1週間後以降** or 調べたいタイミングで検査をお勧めします。

ファイザー社/ビオンテック社製の mRNA ワクチン「コミナティ筋注」の接種を終えた方について、最近の日本人を対象とした実験では、**2回目の接種を終えて1週間後に十分量の抗体が産生されている**と報告されており、2回目の接種後1週間以降であれば正確な評価が可能と考えられます。ただし、ワクチン接種前、1回目の接種後、2回目の接種を終えて長期のタイミングなど個々人の関心に合わせて繰り返しの検査も可能です。

